

令和 6 年度第 2 回
板橋区公共交通会議

令和 7 年 2 月 3 日（月）

令和6年度第2回 板橋区公共交通会議議事録

1. 開会

2. 議事

(1) 公共交通の利用促進の取組について 【資料1】

(2) 東新町・小茂根地域における取組について 【資料2】

3. 報告事項

板橋区内の路線バス及びコミュニティバス運賃改定について 【資料3】

4. 閉会

<資料>

【資料1】 公共交通の利用促進の取組について

【資料2-1】 東新町・小茂根地域における取組について

【資料2-2】 地域住民アンケート原票

【資料2-3】 令和6年度アンケート集計結果（東新町・小茂根地域）

【資料3】 板橋区内の路線バス及びコミュニティバス運賃改定について

(出席委員)

岡村会長、内池会長代理、山家委員、高橋委員、佐藤委員、島松委員、小林委員、
小川委員、秦野委員、山科委員、清田委員、黒岩委員、松村委員、佐々木委員、
藤田委員、水野委員、岩田委員

(代理出席者のあった委員)

小瀧委員、鈴木委員、若田委員、富樫委員、小池委員、佐藤委員、西東委員、
成清委員

(傍聴者)

なし

(午後 3 時 0 8 分開会)

○岡村会長 それでは、令和 6 年度第 2 回板橋区公共交通会議を開会いたします。

次第に従いまして 1 つ目、公共交通の利用促進の取組について、ご説明をお願いします。

○千葉課長 それでは続きまして、都市計画課長、千葉からご説明申し上げます。

まず最初に議事（1）公共交通の利用促進の取組について、資料 1 をご用意いただきたいと思います。

公共交通の利用促進の取組について、ご説明いたします。

皆さん、「公共交通機関を利用しましょう」という呼びかけを、よく耳にされていることと思いますし、私ども公共交通を担う部署だけでなく、環境政策を担う部署でも、呼びかけているところでございます。

そのところでございますが、そもそも移動につきましては、人が何かの目的をかなえるために行うもので、移動することが目的という人はなかなか少ないところだと思います。そこで、資料 1 の 1 ページをご覧くださいと思います。

ここにございますように、外出目的となるイベントと連携いたしまして、そのイベント参加のための交通手段をより分かりやすく伝えるという取組を大切にしているところでございます。

続いて、2 ページをご覧くださいと思います。

何度もご覧いただいている板橋区のバス路線図でございますが、実は、このバス路線・バスルートをご存じない方が多くいらっしゃいます。

確かに、自分の行きたいところに一直線に行けるケースは多くないところでございますが、組み合わせると便利に使えることを知り、これを使わないともったいないという気持ちをもって、また、せっかくのイベントも「交通手段が分からないから、行かなくてもいい」と思われないように、分かりやすい交通案内は大切だと思っております。

また、電車とバスを利用する外出は、歩行距離も伸びますし、また、階段の上り下りなどもございまして、運動不足になりがちな現代では身体を動かす機会の 1 つとも考えられます。

資料に記載はしてはございませんが、東京都のシルバーパスの交付率が 5 割弱という結果がございまして、介護認定率がおおむね 2 割となりますので、残りの 3 割くら

いの方は、シルバーパスの交付を受ける資格があっても、受けていないというところ
でございます。

シルバーパスを約2万円で購入することになる所得の方だったとしても、1か月に割
り戻すと1,800円くらいで、週に1回、電車やバスに乗って外出するときの交通
費と近い金額であることを考えますと、それ以下の外出しかしていないと思われます。
このほか、シルバーパスをお持ちの方でも、「実はあまり使っていない」というお声を
いただくこともあり、積極的に活用される方とそうでない方の差は大きいと感じてお
ります。これがどういった理由かは深掘りできないところではございますが、やはり、
外出をしていない方が増えている、そして、思っているより多いということは現実な
のだと思います。

板橋区の交通環境を考えますと、電車やバスが身近にないから外出しない・できない
ということはなかなか考えにくく、そもそも外出していない・する必要がなくなっ
ているというような状況が、高齢者だけでなく、様々な世代に広がっていると考えます。
インターネットを検索してみますと、行政だけでなく民間企業の調査でも、コロナ禍を
経て、全体的に外出が減少しているとの結果が示されるところでございます。

続いて、3ページ目をご覧くださいと思います。

こちらの表でございますが、コロナ禍の前後で、都営三田線と板橋区のコミュニティ
バス、りんりんGOの乗車人数を比較したものでございます。

まず上段の都営三田線でございますが、在宅勤務で出勤日数が減少したため、定期券
を買わないで、乗車の都度に運賃を支払う形態にシフトしていること、そして、これ
までお出かけで電車を利用している人が減少していることで、定期外の乗車が横ばい
で推移し、全体の乗車人数が大きく減少していると考えられます。

また、下段のりんりんGOでございますが、全体としてコロナ禍前を上回る乗車をい
ただいておりますが、シルバーパスの利用者が減少しています。沿線の70歳以上の
高齢者人口は10%以上も増加している中で、この乗車人数の減少となっておりまし
て、りんりんGOはこの間のダイヤ改正はなく、継続して運行が行われておりますの
で、高齢者の外出の減少を数字で示していると考えられます。

次に4ページ目をご覧くださいと思います。

イベントの分かりやすい交通案内といたしまして、今年度の取組を紹介しております
ので、2つのカラーのパンフレットも参考にご覧いただきたいと思います。

都市計画課で実施しておりますD X関連事業で、2つの事業、このページの、「板橋デジタル歴史探訪」、また次の5ページ目の「スマホ教室&デジタル健康ウォーク」で、交通案内の提供をしてみたところでございます。

まず、郷土資料館で開催されましたスマホ教室の方では、6ページに参加者アンケート結果を載せておりますが、左下のグラフのとおり、実際に多くの方が公共交通機関でお越しいただいておりますし、また右下のグラフのように、お出かけの際に一緒にあるとよい情報といたしまして、「駅から現地までの道案内」、「バスの路線や時刻の情報」という回答がございますように、やはり、分かりやすい交通案内に一定の効果があると考えられる結果が得られております。

続いて、7ページ目をご覧くださいと思います。

スマホ教室では、抽選で当選した方に、スマートウォッチをプレゼントしておりますし、その方々とSNSアプリ「ライン」を利用いたしましてコンタクトを取れるようにしております。

この方々でございますが、スマートフォンの活用に興味が有り、外出も実際にされている方々でございますので、インターネット上の外出情報を積極的に提供し、行動変容を促すことを目的に、資料の右のような画面を提供しております。少し見づらいと思いますが、赤枠右下のボタンに「お出かけ情報」ページに飛べる設定を施しております。

1枚おめくりいただきまして、8ページ目でございます。実際のお出かけ情報のページになりますが、鉄道事業者さんの提供するお出かけ情報、東京都さんのウォーキングマップ、鉄道やバスの運行情報、バス路線図、経路検索など、恐らく、皆さんが見たことないであろうページを集めてみたところでございます。

続いて9ページ目、10ページ目をご覧くださいと思います。もう1つ、大きな取組を実施してございます。

板橋区には7つの「板橋」の名前のつく駅がございまして、昨年度は、東武鉄道さん、JRさん、都営交通さんの3者でスタンプラリーを実施してまいりました。今年度はここに区も加わりまして、4者での「7つの板橋駅スタンプラリー満喫版2024」を開催したところでございます。

このスタンプラリーでは、スタンプを全て集めようとすると、都営三田線と東武東上線の間での移動が必要となります。この行き来にはバスの利用も便利となることから、

次の10ページに記載のとおりでございまして、スタンプ設置場所と区のホームページで、路線バスでの移動の案内を実施しております。こちらの二次元コードを読み取っていただきますと、現在時刻の電車やバスの運行ダイヤを加味したルート案内がなされる仕組みでございまして、スムーズな移動を支援したところでございます。

次に11ページ目でございます。

こちらが実際にスタンプを押印した台紙を掲載させていただきました。デジタルの時代に、駅社員・区職員の手作りスタンプを集めるというものでございまして、板橋区及びその周辺にお住まいの方の参加が多かったところでございますが、埼玉県や千葉県にお住まいの方の参加もいただくなど、多くの皆さんに楽しんでいただけたところでございます。

来年度には、さらに充実した内容にできるよう、各者間で検討が開始されているところでございます。

資料の説明としては以上となりますが、今回、皆さんに1つお願いがございます。区職員も知恵を絞りながら、また、交通事業者各社様にもご協力いただきながら、どうすれば利用促進の効果を上げられるかについて試行錯誤しているところでございます。来年度はより高い成果につながりますよう、これらの取組についてのご意見・ご感想、こうした方がいい、そういったアイデア、また、交通事業者様からのご提案など、この後、皆様からお教えいただけないかと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

○岡村会長 それでは、皆様からご発言等をいただきたいと思います。ご発言の際は挙手いただいて、お名前をおっしゃっていただければと思います。いかがでございましょうか。

それでは、お願いします。

○富樫委員（代理） 東京バス協会、地宗と申します。今日は富樫が所用で欠席なので、代理として出席させていただいています。

資料の3ページにですね、シルバーパスの上限のところで満額になっているというところがあるんですが、更新の仕方が令和6年度と令和5年度に比べると、令和5年度はお金を振り込めばシルバーパスを送付する形になっていたんですが、令和6年度はですね、1,000円の方にも所得税の確認の書類を送っていただくという、1つ作業が増えてしまったことによって、なかなかうまく発行ができなかったというところも

あったし、なので発行枚数がどうしても減ってしまっているという現状がありますし、再度、シルバーパスを郵送でできなかったという方には、バス会社さんの窓口に行っていただき、購入していただくという形にはなっていますが、それがちょっと増えていないのかもしれないのかなというところであると思います。

また、令和6年度については、シルバーパスを窓口で購入された方に、小さなパンフレットをシルバーパスの方で作っておりまして、そちらはシルバーパスで路線バスに乗ってくださいねという小さな冊子を作ってお渡ししているという、協会としてもシルバーパスを利用していただいて、高齢者の方にも外出をしていただけるような形では考えてやっているところではあります。

そういったところで、多分シルバーパスが下がっているのかなというところがありますので、これからも利用者の方が増えるように、協会としても色々試行錯誤しながら、考えながら、ご利用の人数の方を増やしていきたいと考えております。

○岡村会長 どうもありがとうございます。

本件関連して何か、ご発言等があれば、せっかくです。お願いします。

○佐藤委員 観光協会の佐藤と申します。今、事務局の方よりご説明がありました、イベントの内容についてのご質問なんですけれども、まず1つ目は「スマホ教室&デジタル健康ウォーク」に関しまして、この6ページにあるようにですね、運営グループを見ますと、100%、60歳以上という感じなんですけれども、もう1つ、スタンプラリーの方ですね。こちらの方の年齢分布の資料はあるのでしょうか。

○千葉課長 ありがとうございます。まずですね、スマホ教室なんですけれども、お手元にパンフレットを配付しております。こちらの左上に60歳以上限定としておりまして、高齢者対象のイベントとさせていただいております。

それからスタンプラリーでございますが、こちらの用紙をですね、駅とか公共施設に置いて、取っていただいてやらせていただいていますので、実は年齢とか、どんな方がやったかというのは、なかなか分からないところがあります。アンケートの中では、どこから来たというところを取っておりますので、こういったところで記載をさせていただいたところがございます。

○佐藤委員 ありがとうございます。ごめんなさい、ちょっとパンフレットを見落としていまして、そうしますとスマホ教室に関しては高齢者対象ということなんですけれども、そうしますと今回の公共交通の利用促進の取組については、1つの企画として、

高齢者の移動促進を狙ったという意味合いでよろしいでしょうか。

○千葉課長 こちらの都市計画課で行った事業なんですけれども、実はデジタルの弱者と言われる高齢者に対しまして、それを解消する目的でやったイベントになります。ただ、今回皆様にお知らせしているのが、この中ほどにあります「おすすめの行き方」、ここを少し丁寧に書かせていただきまして、より目的地に公共交通機関で行くと便利になりますよということを記載させていただいて、それで利用促進を狙ったところでございますので、実際これで効果がどれくらい上がるのかというところはあるんですけれども、アンケートの結果、分かりやすかったという評価を言っていましたので、紹介をさせていただいたところでございます。

○佐藤委員 すみません。この企画に関してはですね、非常に移動をする動機づけとしてのきっかけとしては、よく考えられたかなというふうに思っておりますので、今後のアイデアというお話がありましたけれども、ちょっと今すぐこれでというわけにはいかないかもしれないですけれども、知恵を絞って考えていきたいと思います。ありがとうございました。

○千葉課長 ありがとうございます。それからですね、こちら場所も限られた場所でやったところなんですけれども、実は区内の結構遠くから、ご高齢の方でも遠くからいらしていただけたので、案内の仕方と、もしかしたらこういう交通を使ってくると、という部分で、気軽にご参加いただけたかと思っておりますので、これも庁内に共有をかけたいきたいなというふうに思っております。

○岡村会長 ほかはいかがでしょうか。

それでは、お願いします。

○小林委員 東京都交通局、都営地下鉄の業務を担当しております小林と申します。よろしく願いいたします。

今イベントの話がありましたので、イベントの関連でというお話を差し上げたいところなんですけれども、私ども都営交通におきましてもイベントを幾つか開催しておりますが、やはりお客様のイベントの参加熱というのは非常に高いというのを、このところ肌で感じているところがあります。毎年都営フェスタという、車庫でやっていたりしまして、今年は浅草線の馬込の車庫でやったんですが、その前の年は志村でやってたりして、毎年、コロナのこともありまして、リアルだったり、オンラインだったりとか、冬であったりということはあったんですけれども、非常にお客さんも参加され

る、抽せんで参加できるものもあつたりするんですけれども、そういったものも非常に多くの方にご応募いただいているという状況がありますので、今回のスタンプラリー、恒例ではありますけども、参加させていただいて、またさらにですね、各社さんと区さんとの取組を進めていければと思います。

地下鉄の駅は非常に狭い敷地内ではありますけれども、そのPRの方もやらせていただきたいと思いますので、ぜひ引き続きよろしくお願いいたします。

以上になります。

○千葉課長 ありがとうございます。本当に我々が行う、行政が行ったイベントでも、やっぱりたくさん参加いただいたりしておりますし、また、その参加に当たっては、公共交通機関、すごく利用いただけていると思います。

また今年度ですね、こことは別なんですけれども、都市計画課で都市マスタープランの改定というものをやっております、こういった周知でも実は都営三田線の駅、こういったところでも周知をかけていただいております。そうするとやっぱり、参加者の方も我々のやることの周知、どんなことをやっているかという部分を知ることとともに、あとどんな場所でやっているかということも出せますので、より交通を使って区の主催する事業ですとかイベント、こういったところにも参加いただけたらと思っていますので、今後とも引き続きでございますが、よろしくお願いいたします。

○岡村会長 ありがとうございます。ほかはいかがでしょうか。

イベントというのはなかなか知恵を絞る方も実際に、これは物すごく大変ではあるんですけど、一方で参加される方は基本的にはこれがなかったら乗らなかった方が来ていただいたということで、効果が比較的分かりやすいという意味では、何ていうんでしょうね、これだけのお客様が来たので励みになるというかですね、ちゃんとお金とでもペイしているということで分かるということになるのかなと思います。

たまたま、りんりんGOの話が出ておりますけれども、シルバーの方が減ったということの理由の1つについては、ご紹介をいただいておりますけれども、それ以外の方の伸びというのが、そのシルバーは例えば取得されなかった方がこちらに移ったことを考えても、これは結構ほかの路線と比べてもかなり増え方として、ちょっと顕著かなと思っております、これ多分イベントではなくて本当に日常の利用があるんだろうなと思いますけれども、何かこれについて事務局か事業者様で、例えばこのエリア何か、ベースとして増えているというのが本来で一番、利用が増えるという意味では

聞くので、何か理由で思い当たるところがございましたら、事業者様か事務局でお願いできますか。

○千葉課長 では事務局の方から。りんりんGOでございますが、走らせてから相当年数がたっている、年々利用者も増えているところなんです、コロナ禍では一旦減っておりました。ただ、状況を見てみますと、やっぱり朝と夕方の通勤通学の時間、こちらが大分利用いただけておりますので、認知いただいたとともに、通勤通学で便利に使っていただけるのかなというふうに思っております。

○岡村会長 なかなかその時間が減っているねというところが、特に鉄道ではあるんですけど、これはあれですね、近隣のバス路線との兼ね合いとか、そういうのが入ればということですか。

○鈴木委員（代理） 国際興業の松本でございます。本日、委員の鈴木が所用により出席できませんので代理で参りました。よろしくお願いいたします。日頃より弊社バスの事業に関しまして、ご理解、ご協力を賜り誠にありがとうございます。

利用状況ということでお話がございましたけれども、コロナがポストコロナの時代に入りまして、在宅勤務が増えて、通勤需要が減っているというふうに社会でも言われていますけれども、私どもの沿線、特に板橋区内の需要に関しましては、もうほぼコロナ前のお客様に戻りつつ、まだ数字は離れておりますけれども、戻りつつあるという傾向がございます。

ただ、誠に申し訳ないんですが、折からの2024年問題と言われます乗務員不足に端を発する問題とか、始発のバス、最終のバス、時間を短縮させていただいたり、運行本数が以前ほど確保できなかったりということで、色々にご迷惑をおかけしております。私どもも運転士を確保して従前の輸送規模に戻したいとは思っておりまして、色々な待遇改善でございますとか、そういった施策を展開しているところでございます。

ちょっと話がそれましたけれども、現在の利用状況につきましては、そのような形でコロナ前の数字に近づきつつあるということを補足させていただきます。

○岡村会長 どうもありがとうございます。

ほかはいかがでしょうか。よろしいでしょうか。現状ということと取組のご紹介ということでございました。どうもありがとうございました。

それでは次、東新町・小茂根地域における取組につきまして、事務局からご説明を

お願いいたします。

○千葉課長　続きまして、(2)の東新町・小茂根地域における取組についてのところ、引き続き千葉からご説明申し上げます。

資料の方は、まず資料2-1をご用意いただきたいと思います。

まず1枚おめくりいただきまして、1ページ目をご覧くださいと思います。昨年度から今年度にかけての検討状況をこちらでお示ししております。

前回の公共交通会議の後、アンケート調査と地域住民との意見交換会を実施いたしまして、それらを基に、対応策等の検討・整理などを行い、本日、その内容の状況をご報告させていただきたいと思います。

2ページ目をご覧くださいと思います。

地域の交通事情についてのおさらいになります。この地域の周りには4つの鉄道駅がございます、距離にしてそれぞれ700メートルから1キロぐらい、徒歩では10分から15分程度の所要時間になると思います。

また、バス路線もございますが、運行時刻が限られていることや、最寄りの4駅のどの駅にも接続しないという状況がございます。

次に3ページ目をご覧ください。

こちら昨年度のアンケートでございますが、買物、通院、最寄り駅周辺、電車に乗って外出するというそれぞれの移動につきまして、不満との回答が多めに見られる状況でございました。この移動の満足度が比較的低いことについて深掘りし、どのような対応が考えられるのか、こちらを検討・整理することとしたところでございます。

続いて、4ページ目をご覧ください。

今年度は、このようなスケジュールで、6月、9月、12月の3回の意見交換会と、アンケートを実施させていただきました。

続いて、5ページ目をご覧ください。

こちらはアンケート実施概要になります。7月から8月にかけて実施いたしまして、対象の約3,000戸全戸にポスティングし、受取人払いの郵送で回収し、回収率の方は19%でございました。

町丁目別の回収数を地図上で表示したものを用意してございますが、偏りもなく、回答が得られたと考えているところでございます。

続いて、6ページ目をご覧くださいと思います。

アンケート結果の一部をこちらでお示ししております。ここで、申し訳ないんですが、資料を訂正させていただきたいと思います。上から2行目のカッコ内、詳細の資料番号でございますが、正しくは「資料2－3」となりますので、申し訳ありませんが、ご訂正いただきたいと思います。

こちらのページ、昨年度のアンケートで、移動の満足度が低いという状況でございますので、自宅周辺での移動について、困り事の有無の回答をお願いしたところでございます。

実は、「自宅周辺での移動」と対象を絞ってアンケートを実施したことに対しまして、地域の一部の方からは、もっと広範囲の移動について聞くべきとご意見もいただきました。このご意見の趣旨も理解するところではございますが、最寄り駅自体が既に4駅あり、買物先、医療機関なども多く立地する都市部でございますので、移動距離が長くなればなるほど、一人一人の目的地や移動手段も幅広くなってしまうため、最寄り駅くらいまでの距離の移動としてアンケートを実施したところでございます。

資料の方に戻りますが、移動の困り事については、左下のとおりになったところでございます。この中で最も困り事が多かったのが「最もよく使う駅」までの移動でございまして、この困り事があると回答した方の「最もよく使う駅」は、黄緑の着色のとおりでございまして、その多くが小竹向原駅という結果でございました。また、右下のグラフになりますが、青の上板橋駅、黄色のときわ台駅、黄緑の小竹向原駅で、年齢別にどれだけの回答数があつたかをグラフにしておりまして、若い方の回答も多いところでございますが、65歳以上の高齢者の回答も全体の3、4割を占めておるところでございます。

7ページ目をご覧いただきたいと思います。

ここからは、意見交換会の概要となります。趣旨としまして、地域特性に即し、需要・ニーズに対応した持続可能な取組の実現を掲げ、みんなで一緒に、利用して育てるという考えの下、開催したところでございます。

これは、こんな乗り物があつたらいいなという「ふんわり」としたのではなく、実際に利用される可能性の高い、現実には即した方策を考えることを強く意識しているためでございます。

また、地域の方へは、3回とも回覧板で周知を図り、回覧板の回らない集合住宅へは、ポスティングも実施させていただきました。

続いて、次の8ページ目は、意見交換会の実施一覧でございます。第1回から第3回までまとめてございます。

また1枚おめくりいただきまして、9ページ目でございます。

このページからは、各回の概要のまとめとなっております。

まず第1回目でございます。同じ内容で二日間実施させていただきました。主なご意見は下段の方にまとめたとおりでございます。全体といたしましては、不便だから何とかしてほしいというご意見をたくさんいただいたところでございます。

次の10ページ目でございます。第2回の概要をご覧いただきたいと思います。

具体的に乗合交通、タクシーの相乗り、助け合い交通などの選択肢をお示したことで、少し具体のお話に進んでいったところです。主な意見にありますが、目的地や利用する時間帯が異なるので相乗りは難しいなどのお声や、周辺地域での道路・駅前広場整備などの都市インフラ整備を踏まえステップを考えた方がよいという、建設的なご意見もいただいたところでございます。

続いて、11ページ目、第3回の概要をご覧いただきたいと思います。

第2回目までのご意見を踏まえまして、右上の表のとおり、現在の困り事をどう解消するか、将来的なインフラ整備でどんな可能性があるかを整理してお示しいたしました。もちろんでございますが、この実現を約束できるわけではなく、表の二段目にありますように、課題も重いものでございますが、考え方としての整理はできたと思っております。

また、アンケート結果で、最寄り駅への移動改善についての意見が多いことから、最も利用の多い小竹向原駅と次に利用のあるときわ台駅を候補に、新たな交通手段を考えることをお示したところでございます。

参加者の一部の方からのご意見としては、別の駅や多くの区の施設をルートに含めて欲しいというお声をいただいたところでございますが、目的地への速達性が損なわれることや、1回の運行距離と一周の時間が延びることで運行頻度が低下し、利便性が減少するなどの課題をお伝えしたところでございます。

それから、もう1つのテーマといたしまして、今ある路線バスをどう活用していくかという視点でのお話をさせていただきました。地域の中にあるバス停を起点といたしまして、池袋駅東口を結ぶ国際興業バスの路線でございます。利用の多い時間帯の運行は継続されており、皆さんの利用が大切だということをご認識いただきたいとこ

ろでございます。

続いて、12ページ目をご覧いただきたいと思います。

意見交換会のまとめと今後の取組になります。まず、新たな交通手段として、表の一番左の欄の「短期」の検討を実施することといたしました。

続いて、13ページ目をご覧ください。

新たな交通手段につきましては、バスが走れる道路環境が整わない地域でございますので、これまでもお示ししております3種類の手段を候補に、目的地を小竹向原駅ときわ台駅を候補に、検討してまいります。

次の14ページ目をご覧ください。

新たな交通手段ではカバーできない距離の大きな移動でございますが、こちらは路線バスに担っていただくことが最善の手段であり、その地域の貴重な資源である既存のバス路線をどう大切にしていくかを、もう1つのテーマとしていこうと思っております。

1枚おめくりいただきまして、15ページ目をご覧いただきたいと思います。

今後の進め方としましては、まず、地域の皆さんとの検討体制をつくった上で、新たな交通手段について、需要を見極めながら、交通事業者さんの理解と協力をいただいて、実証運行を見据えた検討を行いたいと思っております。

また、既存のバス路線「国際興業バス池55系統」の路線維持については、まずは、地域の皆さんの利用についてですが、このほか、深刻な状況となっている運行の担い手も必要であるということについても、地域の皆さんと一緒に考えていきたいと思っております。

16から19ページにつきましては、ルート選定に関する参考資料をつけさせていただいております。

最後に、20ページ目をご覧いただきたいと思います。

こちらは意見交換会やアンケートで得られた事項、これまで区が地域の交通について感じ・考えてきたこと、また私ども職員も1人の住民として感じていることなども含めまして、少しまとめを作成しております。参考ではございますが、皆様にご認識いただければと思います。

まず1つ目でございます。駅からの距離でございますが、駅から15分程度、距離にすると約半径1キロ程度というところだと、不動産の観点でいきますと、一般的に

駅から徒歩圏として流通しており、その交通手段は、徒歩と自転車が選ばれていることが事実でございます。

ただしというところで、やはり高齢になりますと、歩行の速度が下がってきますので、その分、歩く時間も長くなります。東新町・小茂根地域に限らず、ほかの地域からも、このようなお話をいただいております。

2つ目、外出の傾向のところ、通院の頻度でございます。年代を問わず「月に数回」、「半年に数回」でございまして、定期的な通院でも頻度はそれほど高くはないところでございます。また、病院や診療所の数の多い都市部では、通院先は本当に多様で、通院目的の移動を束ねることはなかなか難しいと感じております。

3つ目の買物の利便性でございます。スーパーなど食料品店が複数立地している地域が多く、最寄り駅への移動と比較して、買物のための移動で困るという声は少ないのが実情でございます。実際に、意見交換会でも、買物には困っていないという意見を幾つかいただいたところでございます。

4つ目の地域の路線バスのところですが、路線バスが最寄り駅へ向かわない場合は、やはり利用は限定的となり、その路線の経由地などの特色・魅力を知って、感じていただいて、利用につなげる努力が必要だと感じております。

5つ目、これまで地域からいただいた声でございます。地域からは、これまでも大山駅方面への交通手段を求めるお声をいただいていたところでございます。ところが、大山駅方面へ向かう路線バスは、地域の利用者は少ない状況でございます。アンケート配布数が3,000戸でございましたので、人口は少なくとも5,000人は超えているはずで、こうした多くの方は最寄り駅に向かわれていること、そこに1つの需要があるのだろうと考えているところでございます。

このようなことを含めまして、地域の皆さんと、実際に利用されて便利に活用されている交通手段はどんなものなのか、これからもしっかり考えていきたいと思っております。

説明が長くなりましたが、こちらの資料の説明は以上となります。

アンケート結果の詳細につきましては、説明を割愛させていただきました。それぞれのページに要点やポイントを示しておりますので、それをご参考にご確認くださいますようお願いいたします。また、この後のご意見や質疑にお答えする中で、必要に応じて説明を加えさせていただくことも考えております。

少子高齢化が進みまして、業界を問わず、私ども公務員でも人不足・担い手不足が生じております。皆様も報道でご存じのとおり交通事業者さんも運転士不足でご苦労されている中でございますので、この状況でどのような形ができるのか、そして何が正解なのかも手探りとなると考えておりますが、よい形にしていければと考えているところでございます。

最後になりますが、本日机上配付いたしましたカラー印刷の「東新町・小茂根地域交通意見交換会のご報告」につきましては、今お伝えいたしました内容をまとめた資料となっており、アンケート実施範囲の全戸へ、ポスティングと回覧板での回覧を実施する予定としておりますので、参考にご覧いただきたいと思います。

皆様、どうぞよろしくお願いいたします。

○岡村会長　ということで、これまでの経緯と経過報告ということでございますが、皆様からご質問、ご意見等、よろしくお願いいたします。

一般に、なかなか1キロメートル前後、それなりに元気な方であれば歩いたら15分かかるか、かからないかというところで、この種の乗り物に乗っていただくというのは正直かなり厳しいというところの中で、どうしていくかということかなと思っております。

皆様に色々考えていただいている間に、この短期というところで、今ある程度想定をしているのは、この地域に何千人もお住まいというお話でしたけども、比較的15分歩くというのがややきついなというような方を想定しているか、それとも例えば、駅はときわ台の方が近いんだけど、東武さんには申し訳ないですけど、メトロだけで初乗りで行けるんだったらそっちの方がいいねって言って、そちらに行きたいというような方が200円だったら乗りますよという、要は純粋に便利だから使いたいという、比較的アクティブの方に使ってほしいというふうにするか、両方なのか、その辺りは、現状では感触はどうでしょうか。

○千葉課長　感触というところで言いますと、実は意見交換会に来られた方というのが、どちらかというところと高齢の方が多かったかと思えます。色々お話を聞いていますと、皆さん、若い頃は駅まで平気で歩いてたっておっしゃってまして、話している中で、ただやっぱりだんだん年を重ねてくると、駅まですごく時間がかかる方もいるので、そういったところを何とかしてほしいなという声も出ていたと思っております。

この短期、中期、長期と分けたところなんですけれども、短期というのは、例えば検

討体制をつくった中で、皆さんの中で、例えば車を用意すれば、できるようなもの、それからもしかしたら皆さんが協力し合うと解決できそうなこと、要は現状の中でも工夫すれば何とかできるようなことが短期なのかなと思っています。

中期になると、この資料の１２ページに短期、中期、長期をまとめさせていただいていますが、その１２ページの中期の一番下の関連事業というところを見ていただきますと、上板橋駅南口の駅前広場整備というものが完成するところです。そうすると、例えば川越街道から上板橋駅の前まで道路が通りますので、近隣で通っている交通がもしかしたらその中に入る、そういった可能性ですとか、これバスもタクシーも含めてなんですけど、そういったことが区の事業として予定されているところです。

長期になりますと、現実問題、今計画中とかこれからできそうなもの、こういったものがだんだん現実性を持ってくるところなので、これにはやっぱり理想的ではあるんですけど時間がかかる、そんな視点でございます。

こういったところで地元の方と、まずはみんなでできる短期、そういったところから問題を解決しつつ、あとやっぱりその先を見据えて、中期、長期、こういったお話ができると、皆さんのレベル感が整うかなと思っておりまして、今のところそのように考えております。ただやっぱり話していく中で、今後どう展開するかについてははっきり詰めていきたいなというふうに思っています。

○岡村会長　ありがとうございます。

それでは皆様、いかがでしょうか。お願いします。

○佐藤委員　今、短期、中期、長期とかという話がありましたけれども、先ほど会長がおっしゃったように、徒歩１０分から１５分圏内というふうに考えると、なかなか、色々な交通インフラをそこで新しく作っていくというのは、長期的に見ればいいのかもしれないですけども、短期的に見るとどうなのかなというところが１つあるのと、今日配付された資料を拝見しているとですね、やっぱり駅までのというところにすごく不満を感じている人が多くて、その中で、その駅までどうやって行っているのかというと、徒歩か自転車という方が今現状でいうとほとんどだと思うんですね。

そういう現状をちょっと考えていくと、私の意見としては短期的にはインフラ整備というよりも、要するにその駅までの動線、例えば歩行者とか自転車が通りやすいような道を整備するとか、あとは例えば夜間に帰ってくるときに不安がないように街灯を増やしたりとかですね、そっちの方の整備というのも、１つ視野に入れていただいた

ら、もうちょっと現実味が増すのかなというふうに思いました。

○岡村会長 ありがとうございます。

ほかはいかがでしょうか。

皆さんが考えている間なんですけど、例えば、家に車がある方もそれなりに多いところで、環七沿いですから車を持って運転できる方は、むしろ便利なところだろうと思うんですけど、駅まで家族を車で送迎するという場面というのは、比較的多い感じですか。それともあまりない。例えば雨が降ると、結構ちらほら見ますねという感じか、いや意外とそんなことはないですよ、なのかで、何ていうんでしょう、電車に乗ってさらに出かける人がより便利にというふうに使いたいというところが映るかどうか分かっているかということですね。そうじゃなくて、いや、そうは言いながら、特にときわ台当たりだと、駅周辺に目的地があるので、今まで歩いて行ったんだけど何か乗り物が欲しいということだと、これは大分違ってくるかなと思うのです。要は、車の送迎、感覚的にあんまりなさそうな気もするんですけど、どうでしょう。

○千葉課長 ちょっと正確にアンケートを取ったわけではないんですが、例えば今言った4つの駅を見てみると、駅前に車を停車する機会というのをあまり見たことがないというところですよ。それと、やっぱり車の所有についても、お話を聞いている限り、やっぱり高齢になると車を手放していくというところもあるので、だんだん車の所有についても減っている。あとは家族もですね、やっぱり核家族というか、成人するとなかなか同居していないというところを考えると、家族の送迎も思うように進まないというか、なかなかそういう関係性にないのかなという気がしています。

ちょっと私の主観も入っていますが、そのように感じております。

○岡村会長 ありがとうございます。

ほかはいかがでしょう。お願いします。

○鈴木委員（代理） 国際興業の松本でございます。今、資料の中で弊社の池55系統が非常に厳しいご意見を頂戴して恐縮しておるところでございますけれども、実際には私どもは小茂根地区から大山を通過して池袋のサンシャインの横から、東口まで行く路線を運行しておりますけれども、住民の方はほとんど小竹向原志向というアンケートの結果がございまして、まずは、この最寄り駅という定義にしても、恐らく直線的な距離という最寄り駅というのものもあるでしょうし、その方がどちらに向かって移動されるか、あるいは駅が、例えば上板橋駅は準急が止まるとか、あと小竹向原だったら横

浜の方に1本で行けるとか、色々、そういった心理的な使いやすさの最寄り駅というのも色々あって、これが非常に問題を難しくしているところだと思います。非常に選択肢が多い、地方都市ですと駅と言ったらもうどこ駅ではなくて、例えばタクシー乗って駅をお願いします言ったら、駅もそこしかないようなところで、これだけ駅があると選択肢も多くて、どこに、数で言うと小竹向原なんでしょうけど、じゃあ残りの駅を無視していいのかという意見にもなると思います。

池袋まで行っていただく方に、小竹向原じゃなくて、池55に乗ってとお願いするのもたやすいですけど、それも本数もそんなにないものですから、なかなか、そういった行動の変容を求めることも難しいと思いますし、この路線自体も以前は豊玉北と言いまして、新桜台からもっと向こうの方まで行ったのを、当時のレベルでいうと、やはり利用者が足りないとか、少ないということで短縮したという経緯がございます。

今後どうしていくかというところで、小竹向原の移動手段を確保しようという話になるんでしょうけれども、以前でしたら、例えば区の方から私どもにお願いされて、赤字にならない程度に出していただければやりますよということにもなったと思うんですけれども、最近では私どものバスを運行する大型2種免許の取得者が大変減っております。若い方の取得者が全然増えていかないというところで、平均年齢も50歳近くになっております。そういった中で、どうしても私ども大型2種を持っているドライバーには、大きいバスで、なるべく多くのお客様を目的地までお運びするというのを、まず考えなくてはいけないと思っております、区内の色々な、先ほどこちらの利用促進でご紹介いただいたような鉄道を結んでいる路線、非常に利用者も多いながらも、残念ながら本数を減らさせていただいている、そういったところを、もし余力があるなら増やしていくということもございますので、私どもでお引受けするのもなかなか難しい。

そうすると先ほど事務局の方からもお話がありました担い手不足、地域の方での支え合いという選択肢になるんですけれども、過疎の都市ではバス会社もタクシー会社もいなくなってしまう、もう仕方なく住民の方が支え合っているというケースもございます。まだ、こちら板橋区さんの場合はバス会社もタクシー会社もたくさんありますので、それを活用していければ一番いいんですけれども、それが難しければ、ちょっとあと、順番があれなんですけど、アンケート結果にも助け合い交通の話もありますので、そういったことも区民の皆様に意識づけをしていただいて、担い手不足の解消

につなげていただければと思っております。以上です。

○岡村会長 ありがとうございます。

ほかはいかがでしょうか。

そうしますと、こちらは経過報告ということで、これからも進んでいくというふうに思いますので、議題2としてはご了承いただくというところでよろしいですか。

ありがとうございます。そうしますと、次の資料3の報告事項に参りますが、よろしいですか。

そうしましたら、区内の路線バス及びコミュニティバス運賃改定について、お願いをいたします。

○千葉課長 それでは引き続きでございますが、千葉の方から説明させていただきます。

次第の3の報告事項、板橋区内の路線バス及びコミュニティバス運賃改定についてでございます。お手元に資料3をご用意いただきたいと思います。

それでは、報告事項といたしまして、板橋区内の路線バス及びコミュニティバス運賃改定についてご説明いたします。

資料3でございますが、昨年になります、3月に関東バスさんが、大人の運賃で、220円から230円へと改定になりました。なお、この運賃は1年間の暫定運賃とされておりまして、暫定期間経過後には240円になる予定と発表されているところでございます。

また10月には国際興業バスと区のコミュニティバス「りんりんGO」につきまして、大人の現金での乗車運賃が、230円から240円に改定となりました。そして、令和7年10月には、IC運賃についても240円への改定を予定しているところでございます。

いずれも、需要の減少のほか、バス運転士の待遇改善による人件費増加、燃料費の高騰などが理由となっております。

これまで、政府の補助金によって価格が抑えられていたディーゼル燃料も、補助の削減が段階的に実施されており、価格の上昇が続いております。

区のコミュニティバス「りんりんGO」におきましては、資料1で説明したとおりでございますが、年間の乗車人数はコロナ禍前を上回り過去最高を更新しております。また、運賃改定の実施もありましたことから運賃収入は増加しております。しかしながら、それを上回る人件費の増加、燃料費の高騰が続いておりまして、補助金額は増

加しているといった状況でございます。

本資料の説明、報告につきましては、以上となります。

○岡村会長　ということで、こちらは報告ということで、これはもう手続は多分、淡々と別途進むということではございますが、本件につきまして何かご発言はございますか。関係の方からの発言はございますか。

よろしいでしょうか。それでは、お願いいたします。

○小川委員　関東バスの小川です。今のご報告事項にありました弊社の運賃改定につきまして、ご報告です。

昨年の3月1日に運賃改定いたしまして、現在230円の運賃を頂戴している状態でございます。当時、暫定の運賃といたしまして、こちらに記載のとおり、1年後に240円を予定しておりましたが、先般社内の方で収支状況など、色々鑑みたところ、この1年後という、今年の、そうしますと7年の3月になるんですけども、その運賃改定は、今回は見送るような状態となっております。

ただ上限運賃の方は240円で頂戴しておりますので、今後状況を鑑みまして運賃改定を実施する予定でございます。以上です。

○岡村会長　ありがとうございます。

ほかはいかがでしょう。お願いをいたします。

○鈴木委員（代理）　国際興業の松本でございます。私どもも昨年の10月に現金運賃のみを10円上げさせていただきまして、現在240円をいただいております。また今年の10月ですね。またIC運賃をそろえる形で240円に上げさせていただきます。りんりんGOの運賃もそれにつれて昨年10月に240円に上げていただきました。色々ご迷惑おかけして恐縮ですが、バスの路線体系の維持のためにご理解を賜ればと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

○岡村会長　ありがとうございます。

ほかはいかがでしょう。特によろしいでしょうか。

そうしますと、本日の議事、報告事項等は以上ということでございまして、最後に本日の議事全体、会議全体を通して、ぜひご意見等をいただければと思います。先ほどのアンケートについては特にご質疑の時間を取りませんでしたので、その件でももちろん結構でございます。

特に皆様よろしいですか。

そうしますと、次第の下のところにありますけれども、これ事務局からこの後お話しただくのかもしれませんが、今年度末をもちまして、皆様というか、我々というか、任期満了ということだそうでございますので、皆様どうもご協力ありがとうございました、ということでございます。

ですので、この場で色々ご意見をいただくというのは、この形では、このメンバーでは最後ということになるかと思いますので、そういう意味でもぜひ何か、今日の議事とは直接関係ないことでもですね、ぜひということがあれば、ご意見やご発言をいただければと思いますが、いかがでしょうか。

特によろしいでしょうか。本日の議事にありましたようなもの、それから、そうでないものですね、個々色々な取組を板橋区は進めておりますので、来年度の委員に引き続きなられる方も、あと一旦委員を終了となる方も、ぜひ本件について引き続き色々ご協力いただければというふうに思っておりますので、よろしくお願いをいたします。

そうしましたら、あとはもう事務局で進行ということでよろしいでしょうか。お願いいたします。

○千葉課長 本日は長時間にわたりまして、ご議論、ご意見をいただきましてありがとうございました。

会の途中で出たスタンプラリーなんですけれども、私の方もですね、時間外に自分でチャレンジしてみたんですけれども、結構やりがいがあって、東武東上線と三田線、それからJRさん、こういったところの駅の実はどこにスタンプがあるかというのを探すのも、事務局側でもすごく大変で、ただやってみると、色々な交通に乗れたり、こう乗ると便利なんだということが改めて分かったので、交通の大切さについて改めて実感したところでございます。

本日皆様からいただきましたご意見を生かしまして、公共交通の利便性向上、利用促進、東新町・小茂根地域における取組を進めてまいりたいと考えております。

それでは連絡事項をご説明いたしたいと思います。

本日の議事次第の一番下に先ほど岡本会長からもお話がありましたように、皆様の委員任期が3月末をもちまして満了となります。これまでの2年間どうもありがとうございました。

次年度以降も委員構成としては変更なく会議は継続して進めてまいりたいと思っております。事業者、団体、組織等の代表としてご出席いただいている皆様におかれまし

ては、引き続きのご就任をお願いできればと思っておりますが、人事異動等で代われるなどの場合については、後任の方への引継ぎなど、できればお願いしたいと思っております。

また、次の任期の委員委嘱手続きにつきましては、3月から4月にかけて、担当よりご連絡させていただきますので、こちらの手続きについてよろしくお願いしたいと思っております。

また、次回の日程でございます。5月下旬頃に予定しております。日程が決定いたしましたら、改めてご連絡を差し上げたいと思っておりますので、その際にはご予定いただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

本日の机上の板橋区交通政策基本計画本編及び概要版と、都市計画図3種につきましては、お席に残していただければと思います。

最後になりましたが、本日会場にお車や自転車でお越しの方がいらっしゃいましたら、駐車券や駐輪場の券をお渡しいたしますので、受付にて職員にお声がけいただきたいと思っております。

連絡事項は以上になります。こちらの方で何かご質問等ございますでしょうか。

○岡村会長 それではこれもちまして、令和6年度第2回の板橋区公共交通会議を閉会いたします。本日はどうもありがとうございました。

(午後4時15分閉会)